

# 報告書抄録

ふりがな	へいじょうきゅうはくつちようさほうこくじゅうご							
書名	平城宮発掘調査報告XV							
副書名	東院庭園地区の調査							
巻次								
シリーズ名	奈良文化財研究所学報							
シリーズ番号	第69冊							
編著者名	川越俊一・高瀬要一・肥塚隆保・光谷拓実・小野健吉・次山淳・高橋克壽・内田和伸・高妻洋成・金田明大・清野孝之・吉川聡・西山和宏							
調査機関	独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所							
所在地	〒630-8755 奈良県奈良市二条町2丁目9-1 TEL 0742-34-3931							
発行年月日	西暦 2003年3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東緯 ° / ' / "	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平城宮	奈良県奈良市 法華寺町	29201	-	34° 41' 22"	135° 48' 08"	1967.11.29 \ 2000.12.28	約8100m <sup>2</sup>	学術調査・史跡 整備に伴う調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平城宮	都城	古墳時代 奈良時代 平安時代	礎石建物 掘立柱建物 塀 橋 園池 井戸 道路 土坑 溝 宮大垣	8棟 18棟 30条 2基 1基 2基 3条 12基 34条 2基	瓦、塼、緑釉陶器、灰釉 陶器、土師器、須恵器、 硯、墨書土器、埴輪、中 国陶磁、木製品、金属製 品、銭貨、石製品、鑄造 関係遺物、木簡、植物遺 存体。	園池を中心とした庭園遺 跡。奈良時代から平安時 代にかけて6時期の変遷 が想定される。 園池は大きく3時期の変 遷を考えることができる。 池に張り出す建物や楼と いった施設が存在。 日本の庭園の歴史を考え る上で重要な資料を提供 した。		